

8月17日月曜日に、草津市内にある児童育成クラブくじら様を訪問し、皆さんと一緒に楽しみながら人権について学習しました。シンケンダーも登場し、子どもたちの元気に負けずにはりきっていました。

今回は紙芝居「みんなともだち」を通して、ぽかぽか言葉・ちくちく言葉を知ってもらいました。ぽかぽか言葉とは、元気になったりうれしくなったりする言葉です。ちくちく言葉とは、ぽかぽか言葉の反対で悲しくなったり落ち込んでしまう言葉です。子どもたちは、プレゼントをもらう場面やシンケンダーとモラルンのかけっこを見て、ぽかぽか言葉が使われる場面を学びました。

また、「ありがとう」や「おつかれさま」の手話もみんなで一緒に覚え、心が温くなるぽかぽか言葉の大切さを考えることができました。

最後に「誕生日順にならんじゃおうゲーム」を行いました。これは、言葉を使わずに、身振り手振りで誕生日順に並んでいくゲームです。少し難しそうでしたが、頑張ってコミュニケーションをとりながら上手に並ぶことができました。

残暑厳しいお昼の時間帯でしたが、最初から最後まで暑さを吹き飛ばすような元気いっぱいの時間となりました。

